

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	日本語と文化	
科目基礎情報							
科目番号	0158			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	プリントを配布						
担当教員	久保 陽子						
到達目標							
演劇作品について、物語の読解だけではなく、舞台装置、照明、衣裳、音楽、小道具、俳優の身体の効果など、基本的な演劇の知識を習得する。また様々な演劇のジャンルに触れることで日本文化を知り、また我々が生きる時代や社会と芸術との関連について学んでいく。加えて作品に対する自分の考察、分析、調査等を書く力および議論するスキルも身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		演劇の基本的な知識を十分に身につけている。		演劇の基本的な知識を身につけている。		演劇の基本的な知識を身につけていない。	
評価項目2		作品について、読解、考察する力が十分にある。		作品について、読解、考察する力がある。		作品について、読解、考察する力がない。	
評価項目3		文章や口頭で自分の考えや調査を十分に表現できる。		文章や口頭で自分の考えや調査を表現できる。		文章や口頭で自分の考えや調査を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この講義では、主として演劇（舞台芸術）について学んでいく。演劇は舞台装置、照明、衣裳、音楽、小道具…そして俳優の身体を通して物語世界が舞台上にあらわれるところに面白さがある。このような演劇の特徴を知り基本的な知識を深めながら、作品を読解・鑑賞していく。その際に演劇とそれを取り巻く社会の関わりについても考察することで、自分たちの生きる社会について考える機会としたい。加えて作品に対する自分の考えを書く力、議論するスキルも養っていく。						
授業の進め方・方法	最初に演劇（舞台芸術）について基本的な知識を講義する。その後、いくつかの作品を鑑賞し、それについて観劇レポートを書く。受講者たちのレポートを共有することで、様々な考えがあることを理解しながら作品および演劇の理解を深めていく。演劇の基本的な知識を身に付けるだけでなく、その作品が成立した時代背景についても学んでいく。 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 （授業外学習・事前）授業内容を予習しておく。 （授業外学習・事後）授業内容に関する課題を解く。						
注意点	状況に応じて、受講生と相談のうえ、授業内容を変更する可能性があります。ご了承ください。 本科目では、60点以上の評価で単位を認定する。評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の概要を理解する		
		2週	演劇とは何か 1		他の芸術と比較して演劇の特徴を知る		
		3週	演劇とは何か 2		日本における演劇や劇場の実状を知る		
		4週	野田秀樹と歌舞伎		歌舞伎を鑑賞し、作品の考察をし小レポートにまとめる		
		5週	歌舞伎と作品について		歌舞伎の基本的な知識を習得するとともに、作品を理解する		
		6週	三島由紀夫と能		歌舞伎を鑑賞し、作品の考察をし小レポートにまとめる		
		7週	能と作品について		能の基本的な知識を習得するとともに、作品を理解する		
		8週	アングラ演劇		アングラ演劇作品を鑑賞し、作品の考察をし小レポートにまとめる		
	2ndQ	9週	アングラ演劇と作品について		アングラ演劇の基本的な知識を習得するとともに、作品を理解する		
		10週	フェミニズム演劇		女性作家の書いた現代演劇を鑑賞し、作品の考察をし小レポートにまとめる		
		11週	女性演劇と作品について		言葉とジェンダーについての基本的な知識を習得するとともに、作品を理解する		
		12週	宝塚		宝塚作品を鑑賞し、作品の考察をし小レポートにまとめる		
		13週	宝塚について		宝塚の基本的な知識を習得するとともに、作品を理解する		
		14週	2000年代以降の演劇作品		現代演劇を鑑賞し、作品の考察をし小レポートにまとめる		
		15週	現代演劇と作品について		グローバルな現代演劇の基本的な知識を習得するとともに、作品を理解する		
		16週	期末試験（レポート）		理解度・到達度をレポート形式の試験により行う。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	25	0	0	0	0	25	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	25	0	0	0	0	25	50